

作って遊ぼう＊手児奈かるた

「手児奈かるた」の作り方

ご自身で作った俳句・短歌・川柳、市川手児奈文学賞入選作品などで作るオリジナルの「手児奈かるた」の作り方と簡単な遊び方を紹介します。

作品を作る

自作の俳句・川柳（5・7・5） 短歌（5・7・5・7・7）を作る

かるたを作る

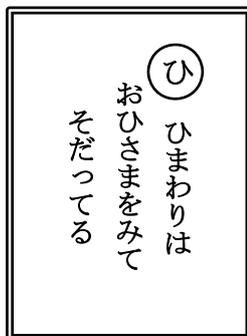
1. 用意するもの

- ① ホームページより「かるた台紙」「入選作かるた」をダウンロードする。
- ② かるた台紙を貼る厚紙（ボール紙、牛乳パックなど）
- ③ のり（厚紙に台紙を貼るために使います）
- ④ 筆記用具（鉛筆、色鉛筆、黒の細マジックペンなど）

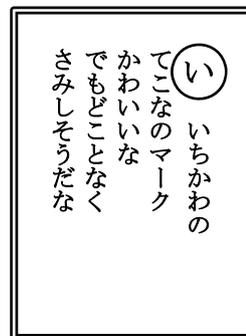
2. 読み札（青色）を作る

- ① かるた台紙を青線に沿って切り離す。
- ② 自分で作った作品の場合は、作品を台紙に書き込む。
鉛筆で下書きをしてから、細マジックでなぞる。
・俳句・川柳は、5・7・5を3行で短歌は、5・7・5・7・7を5行で書く。
・札の右上の○の中には、ひらがなで作品の1音目を書く。

A(俳句・川柳の例)



B (短歌の例)



*A・B共通 札の右上の○の中に、ひらがなで作品の1音目を書く。

3. 取り札（赤色）を作る

- ① かるた台紙を赤線に沿って切り離す。
- ② 自分で作った作品の場合は、作品を台紙に書き込む。
(読み札と同じように作品を書く。)

A(俳句・川柳の例)



B (短歌の例)



*A・B共通 札の右上の○の中に、ひらがなで作品の1音目を書く。

- ③文字だけでなく、挿絵を入れる。(絵を描くか、写真などを貼り付ける。)

4. 台紙を厚紙に貼る

- ① 厚紙を台紙の大きさに切る。
- ② のりで厚紙に台紙を貼りつける。

*ここで紹介した厚紙以外に、小型の豆色紙に貼り付けてかるたにすることもできます。

かるた取りで遊ぶ

1. 読み手1人と取り手を決めます。
2. 取り手が多い場合は、同じ人数で2つのグループに分かれます。
3. 取り札の文字が書いてある面を上に向けて、床にバラバラに置きます。どちらのグループの取り手からも手が届く場所に置くように気を付けましょう。
4. 読み手が読み札を読みあげます、
5. 読まれた札に先に触れた取り手がその札を取ることかできます。
6. 取った札は、その場から取り除きます。
7. 読みあげたときに、読まれていない札に触るとお手付きになります。お手付きをした取り手は、1回お休みになります。
8. 取り札が全員から取りやすいように場を整理します。
9. 4~8を繰り返して、取り札がなくなったときにたくさん取り札を取っている取り手(グループ)が勝ちになります。
10. 読み手、取り手(グループ)を変えて繰り返し遊んでみましょう。